

令和7年12月4日
午後6時30分～

令和7年度第2回世田谷区認知症施策評価委員会 次第

1 開 会

2 挨拶

3 第3期世田谷区認知症とともに生きる希望計画の策定について（諮問）

4 議 題

（1）認知症高齢者等のセーフティーネットについて

（2）第2期世田谷区認知症とともに生きる希望計画に基づく取り組み状況について

（3）各委員による事例紹介及び意見交換について

5 今後のスケジュール

令和8年3月16日（月） 第3回世田谷区認知症施策評価委員会

6 閉 会

資料

資料1 世田谷区認知症施策評価委員会 委員・パートナー名簿、認知症高齢者等のセーフティーネットに係るアドバイザー名簿

資料2 第3期世田谷区認知症とともに生きる希望計画の策定について（諮問）

資料3 諮問文（写）

別紙1 第3期世田谷区認知症とともに生きる希望計画の策定に向けた検討について（概要）

資料4 令和6年度～令和7年度9月末までに高齢者安心コール等を活用した行方不明事例～事例から見える現状と課題～

資料5 第2期世田谷区認知症とともに生きる希望計画に基づく取り組み状況について

資料6 委員等による事例紹介及び意見交換について

参考

参考資料1 見守りネットワークに関する統計 / 各警察署における統計 / 高齢者安心コールを活用した行方不明の対応フロー図

参考資料2 令和7年度世田谷区 アクションチーム一覧（R7年7月時点）

参考資料3 認知症月間におけるライトアップ/視察及び取材の受け入れ状況

世田谷区認知症施策評価委員会名簿（令和6年10月1日～令和8年9月30日）

	区分	氏名	職（所属）等
1	本人	貫田直義	テレビ東京アメリカ元社長、 元テレビ東京プロデューサー
2	本人	丹野玲子	元介護職
3	学識経験者	大熊由紀子	国際医療福祉大学大学院教授
4	学識経験者	村中峯子	神奈川工科大学健康医療科学部看護学科 特命教授
5	学識経験者	田中富美子	弁護士、世田谷区社会福祉協議会成年後見センター 事例検討委員会副委員長
6	学識経験者	永田久美子	認知症介護研究・研修東京センター副センター長 (研究部部长)
7	学識経験者	西田淳志	(公財) 東京都医学総合研究所社会健康医学研究センター長
8	専門医	大島健一	都立松沢病院認知症疾患医療センター長
9	専門医	長谷川幹	世田谷公園前クリニック名誉院長
★ 10	地区医師会	吉澤直人	(社)世田谷区医師会医療連携・福祉事業部 担当理事
11	地区医師会	山口潔	(社)玉川医師会理事
12	地区歯科医師会	村上直弘	(公社)世田谷区歯科医師会担当理事
13	地区歯科医師会	栗屋剛	(公社)玉川歯科医師会担当理事
14	地区薬剤師会	佐伯孝英	(社)世田谷薬剤師会監事
15	地区薬剤師会	橋元晶子	(社)玉川砧薬剤師会理事
16	地域団体	小池宗和	世田谷区民生委員児童委員協議会副会長
17	地域団体	高橋和夫	世田谷区町会総連合会副会長
18	地域団体	小塚千枝子	世田谷区商店街連合会女性部相談役
19	地域団体	高橋聡子	在宅介護家族の会「フェロー会」代表
20	地域団体	中澤まゆみ	認知症カフェ多職種ケアネットワーク 「せたカフェ」代表、福祉ジャーナリスト
21	地域団体	岡崎克美	世田谷区社会福祉協議会副会長
22	介護保険事業者等	徳永宣行	世田谷区介護サービスネットワーク代表
23	介護保険事業者等	相川しのぶ	世田谷区ケアマネジャー連絡会会長
24	介護保険事業者等	氏家雅史	経堂あんしんすこやかセンター
25	介護保険事業者等	佐々木由実	九品仏あんしんすこやかセンター
26	介護保険事業者等	遠矢純一郎	世田谷区認知症在宅生活サポートセンター代表
27	学生	浪井百合香	昭和女子大学人間社会学部福祉社会学科
28	学生	庄司のどか	昭和女子大学人間社会学部福祉社会学科

世田谷区認知症施策評価委員会パートナー名簿（令和6年10月1日～令和8年9月30日）

	氏名	職（所属）等
1	貫田 弥生 友子	貫田直義委員パートナー
2	中田 成子 土屋 明之	丹野玲子委員パートナー

認知症高齢者等のセーフティネットに係るアドバイザー名簿

	区分	氏名	職（所属）等
1	警察署	嵐 考司	世田谷警察署生活安全課長
2	警察署	岸 知穂	北沢警察署生活安全課長
3	警察署	渡邊 裕一郎	玉川警察署生活安全課長
4	警察署	大久保 豪	成城警察署生活安全課長
5	地域活動団体	金安 博明	（福）世田谷区社会福祉協議会 地域社協課長
6	地域活動団体	尾崎 一美	（福）世田谷区社会福祉協議会 地域社協課調整係長
7	区	金子 貴士	危機管理部地域生活安全課長

令和 7 年 1 2 月 4 日
高 齢 福 祉 部
介護予防・地域支援課

第 3 期世田谷区認知症とともに生きる希望計画の策定について（諮問）

1 主旨

第 3 期世田谷区認知症とともに生きる希望計画（令和 9 年度～11 年度）の策定にあたっての考え方について、世田谷区認知症施策評価委員会に諮問する。

2 諮問文

資料 3 「諮問文」のとおり。

3 第 3 期世田谷区認知症とともに生きる希望計画の策定に向けた検討について（概要）

別紙 1 のとおり



諮 問 第 2 号

令和7年12月4日

世田谷区認知症施策評価委員会

委員長 大熊 由紀子 様

世田谷区長 保坂 展人



世田谷区認知症とともに生きる希望条例（令和2年9月
条例第45号）第18条第2項の規定に基づき、下記の事
項について諮問します。

記

諮問事項

「第3期世田谷区認知症とともに生きる希望計画」策定に
あたっての考え方について

1 諮問事項（諮問第2号）

「第3期世田谷区認知症とともに生きる希望計画」策定にあたっての考え方について

2 諮問理由

世田谷区では、世田谷区認知症とともに生きる希望条例で掲げる「一人ひとりの希望及び権利が尊重され、ともに安心して自分らしく暮らせるまち、せたがや」の実現に向け、条例の推進計画である第2期世田谷区認知症とともに生きる希望計画に基づき、様々な認知症施策を推進しています。

認知症は誰もがなり得るものであり、高齢者人口の増加に伴い、今後も認知症のある人が増えることが見込まれていることから、認知症に早期に気づき、早期に備えることが、ますます重要になってきています。

そこで、認知症の本人（以下、「本人」という。）が地域でいきいきと生活できるまちの実現に向け、本人発信・社会参画の推進及び新しい認知症観の普及、地域づくりなど、多面的な施策展開を一層図る必要があるため、令和9年度からの3年間における認知症施策の目指すべき方向性を示す第3期計画の策定にあたっての考え方について、諮問いたします。

第3期世田谷区認知症とともに生きる希望計画の 策定に向けた検討について（概要）



高齢福祉部

- I 希望計画の位置付けと目的、基本計画等との整合
- II 認知症とともに生きる希望条例の基本理念等
- III 第2期希望計画で目指す将来像、評価指標
- IV 第3期希望計画策定に向けた区の視点
- V 計画策定スケジュール（案）

I 希望計画の位置付けと目的、基本計画等との整合

希望計画の位置付け

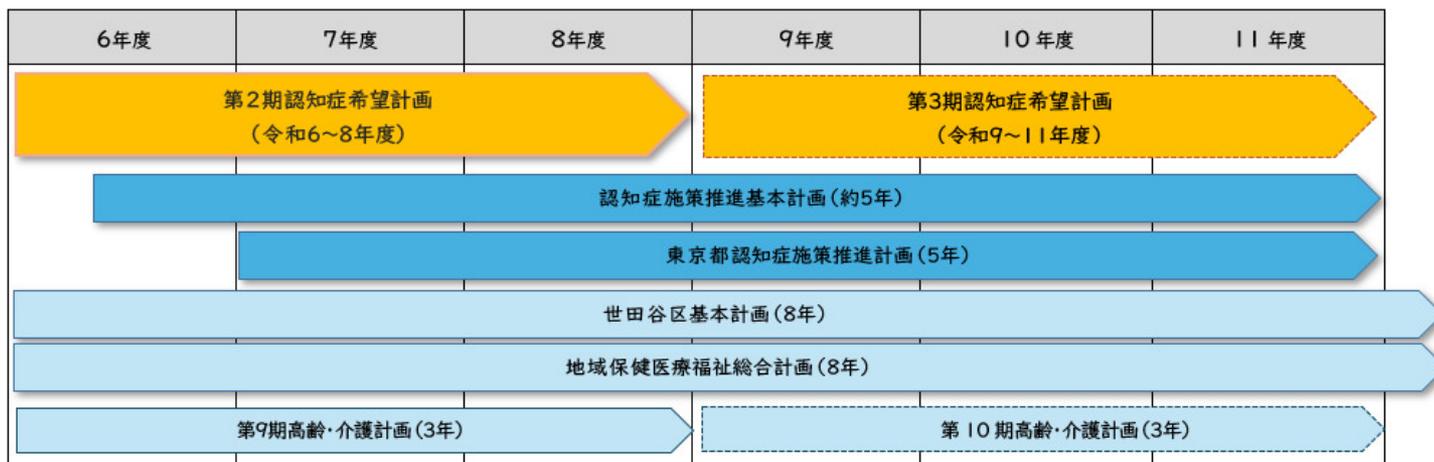
- ・世田谷区認知症とともに生きる希望条例の推進計画
- ・共生社会の実現を推進するための認知症基本法第13条に定める「市町村認知症施策推進計画」
- ・計画期間は3年間

希望計画の目的

- ・世田谷区認知症とともに生きる希望条例に掲げる「一人ひとりの希望及び権利が尊重され、ともに安心して自分らしく暮らせるまち、せたがや」の実現を目指し、区としての中長期の構想のもと、認知症施策を総合的に推進するため。

基本計画等との整合

- ・国の認知症施策推進基本計画や東京都認知症施策推進計画、また、世田谷区基本計画や地域保健医療福祉総合計画、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画等の主要な計画と整合を図る。



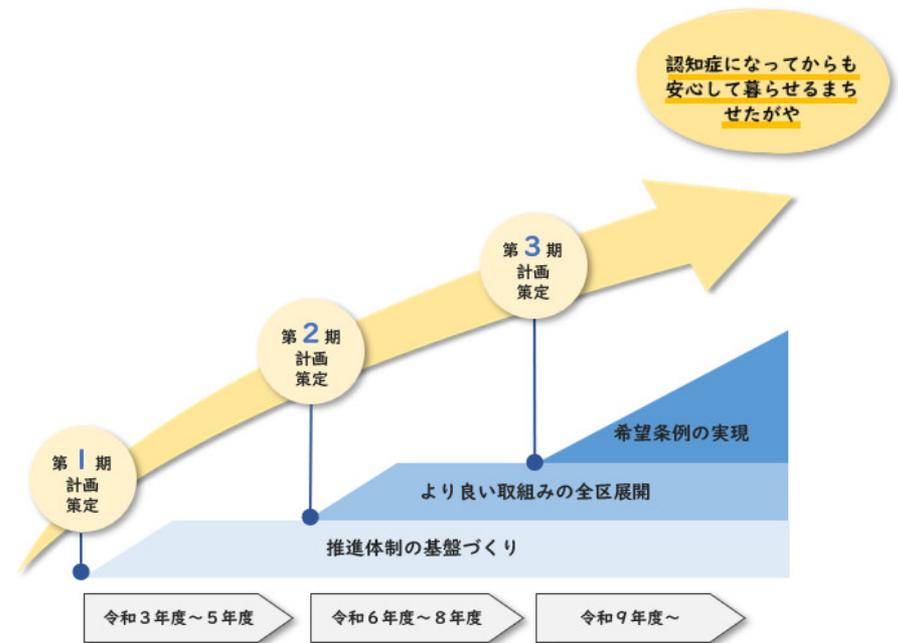
Ⅱ 認知症とともに生きる希望条例の基本理念等

▶ 条例の基本理念（条例第3条）

- ・本人一人ひとりが自分らしく生きる希望を持ち、どの場所で暮らしていてもその意思と権利が尊重され、本人が自らの力を発揮しながら、安心して暮らし続けることができる地域を作る。
- ・区民、地域団体、関係機関及び事業者が認知症に対し深い関心を持ち、自らのことと捉え、自主的かつ自発的な参加及び協働により地域との関わりを持つことで、認知症とともにより良く生きていくことができる地域共生社会の実現を図る。

▶ 計画の進め方

- ・条例の基本理念を踏まえ、第1期及び第2期計画の内容を引き継ぎながら、希望条例に掲げる地域共生社会の実現に向け、認知症施策を段階的・持続発展的に進める。



Ⅲ 第2期希望計画で目指す将来像、評価指標

将来像 条例の基本理念が広く浸透し、地区のアクションが全区で展開するとともに、
認知症の本人が自らの思いを発信・社会参画しながら、地域とともに希望をもって暮らせるまち

施策展開の 考え方

- ①本人の声を聴き、本人とともに
- ②重点テーマを掲げ、区をあげて
- ③小さく始めて、改善しながら、大きく広げる
- ④多世代・多分野の人たちが参加し、つながりながらともにつくる
- ⑤中・長期的に世田谷の未来像をともに思い描きながら

計画目標と評価指標

計画目標	評価指標	8年度末目標 (5年度・計画策定時)	6年度	7年度
条例に掲げる新しい認知症のイメージを持っている人を増やす	条例に掲げる新しい認知症のイメージを持っている人の割合	51.4% (38.2%)	22.8%	20.2% ※1
認知症になってからも希望を持って暮らせると思う人を増やす	認知症になってからも希望を持って暮らせると思う人の割合	35.4% (24%)	15.5%	16.2% ※1
本人が参画するアクションチームを全28地区に増やす	本人が参画するアクションチームの結成地区数	全28地区 (14地区)	26地区	26地区 ※2

※1 世田谷区民意調査2025（令和7年5月実施）

※2 令和7年9月時点

- 新しい認知症のイメージを持っている人を増やす取組みについては、各地区を中心に実施しているアクション講座に加え、小中学校でのアクション講座の実施など、幅広い世代への啓発強化に取り組むとともに、認知症在宅生活サポートセンターのホームページの更なる充実や、医師やケアマネジャー等専門職への周知強化を行うなど、地道な普及啓発活動に継続して取り組んでいく。
- 認知症のある人とない方が共に活動するアクションの中には、地区におけるお祭りブースの運営や居場所づくりなど、地域の多世代交流の場や民間事業者との連携に発展する事例も複数でてきており、認知症の本人が希望をもって暮らせる場は地域で着実に広がっている。

IV 第3期希望計画策定に向けた区の視点

▶ 国の認知症施策推進基本計画における基本的施策

1. 認知症の人に関する国民の理解の増進等
2. 認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進
3. 認知症の人の社会参加の機会の確保等
4. 認知症の人の意思決定の支援及び権利利益の保護
5. 保健医療サービス及び福祉サービスの提供体制の整備等
6. 相談体制の整備等
7. 研究等の推進等
8. 認知症の予防等

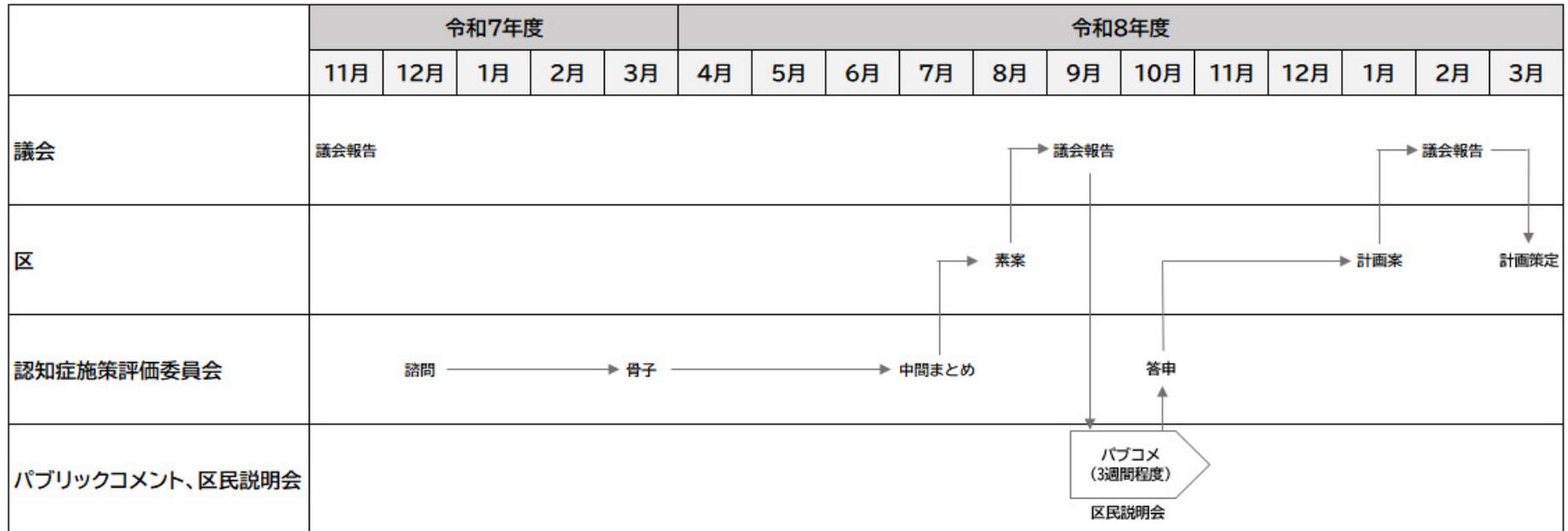
▶ 東京都認知症施策推進計画における基本的施策

1. 認知症のある人に関する都民の理解の増進等
2. 認知症のある人の生活におけるバリアフリー化の推進
3. 認知症のある人の社会参加の機会の確保等
4. 認知症のある人の意思決定の支援及び権利利益の保護
5. 相談体制の整備等
6. 認知症の早期の気づき、早期診断・早期支援
7. 保健医療サービス及び福祉サービスの提供体制の整備等
8. 研究等の推進等

▶ 第3期世田谷区認知症とともに生きる希望計画策定にあたっての区の視点

1. 認知症の本人発信・社会参加の推進【区の認知症施策の要】
2. 新しい認知症観への理解を深める取組みの推進
3. 認知症への備えの推進
4. 希望と人権を大切にしたい暮らしやすい地域づくりの推進
5. 認知症ケア等に資するサービス提供体制の拡充

V 計画策定スケジュール（案）



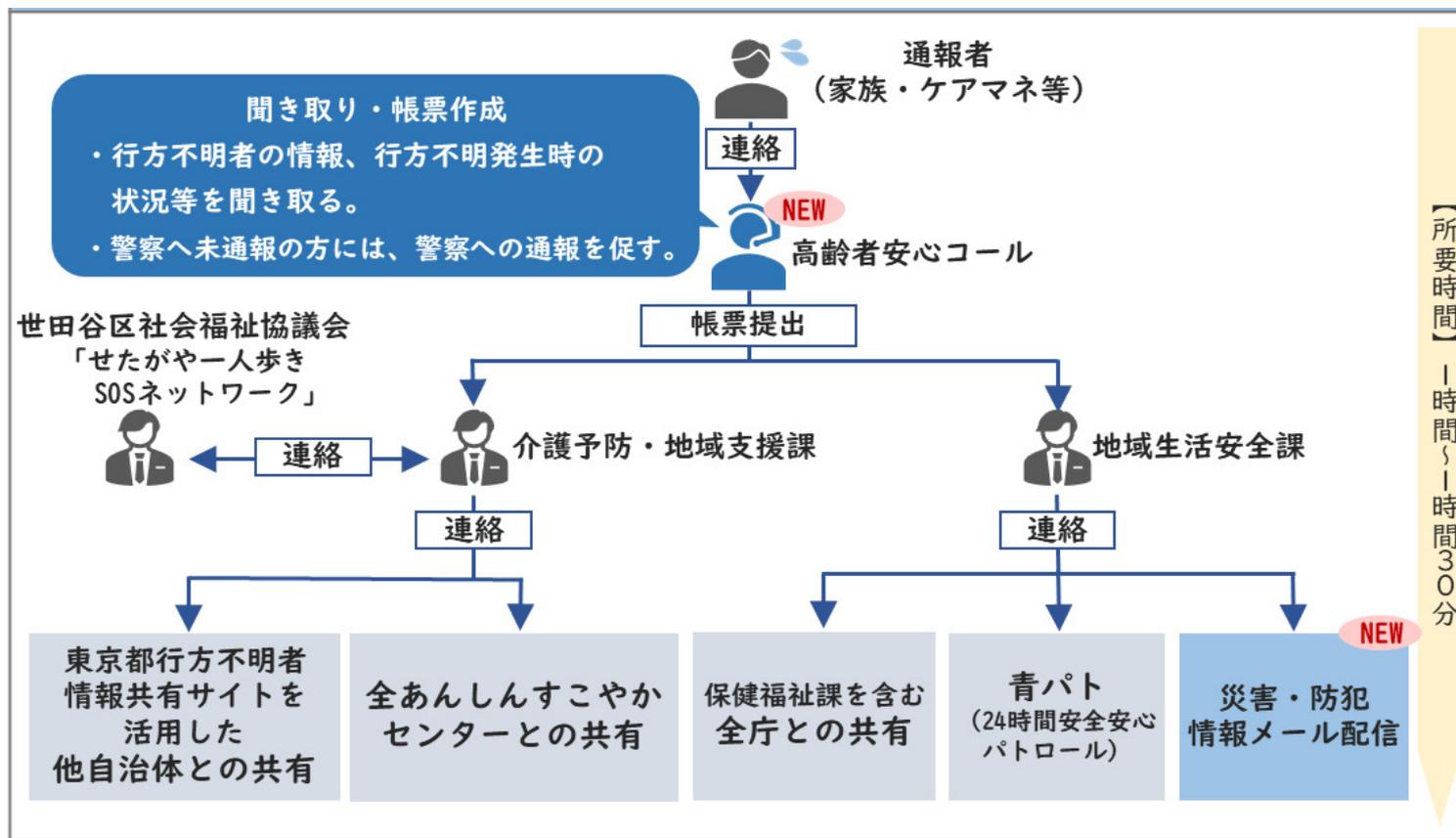
▶▶ 計画策定に向けた審議について

- ・第3期希望計画策定のため、認知症施策評価委員会に諮問する。
- ・また、関係所管で構成する庁内検討委員会での検討も行う。

令和6年度～令和7年度9月末までに
高齢者安心コール等を活用した行方不明事例
～事例から見える現状と課題～

高齢者安心コール等を活用した行方不明対策

今後も増加が見込まれる認知症の方の行方不明発生時の早期対応を目指し、令和6年度より、高齢者の24時間365日の電話相談窓口である高齢者安心コールに窓口を一本化し、世田谷区における対応（以下、イメージ図を参照）を受け付けるとともに、警察署への通報の案内を行っている。



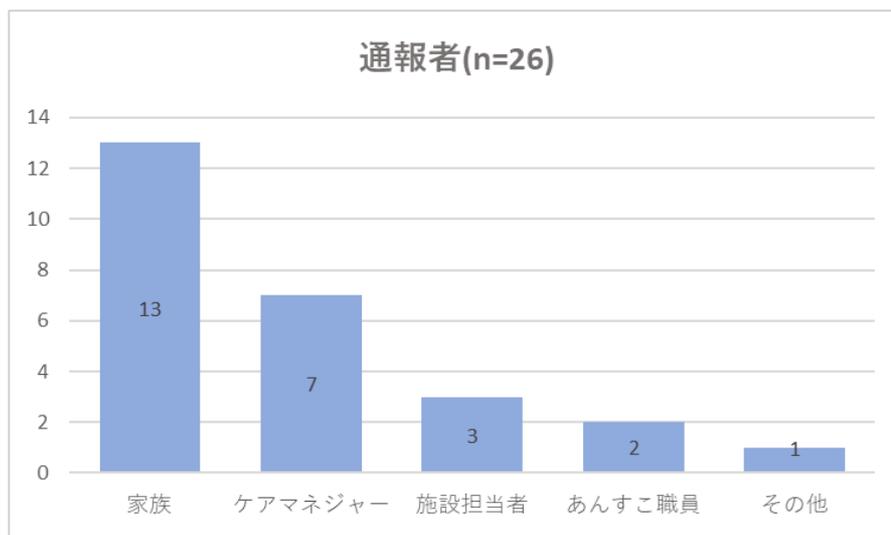
令和6年度～令和7年度9月末までの高齢者安心コール等を活用した行方不明事例

区行方不明対応の延べ件数

令和6年度	令和7年度(9月末まで)
16件	10件

通報者

- ・同居等の家族からの通報が13件で最も多く、次にケアマネジャーからの通報が7件。
- ・施設利用中やデイサービス送迎前後に行方不明となり、施設職員が通報した事例が3件。



傾向と今後の対応策として

- 傾向 家族に次いでケアマネジャーからの通報が多い。
- 対応案 ケアマネジャー対象の研修や地区で実施されるケアマネ交流会の場などを活用し行方不明への対応に関する、啓発強化に取り組む。

令和6年度～令和7年度9月末までの高齢者安心コール等を活用した行方不明事例

行方不明の経緯

●自宅からいなくなった 12件

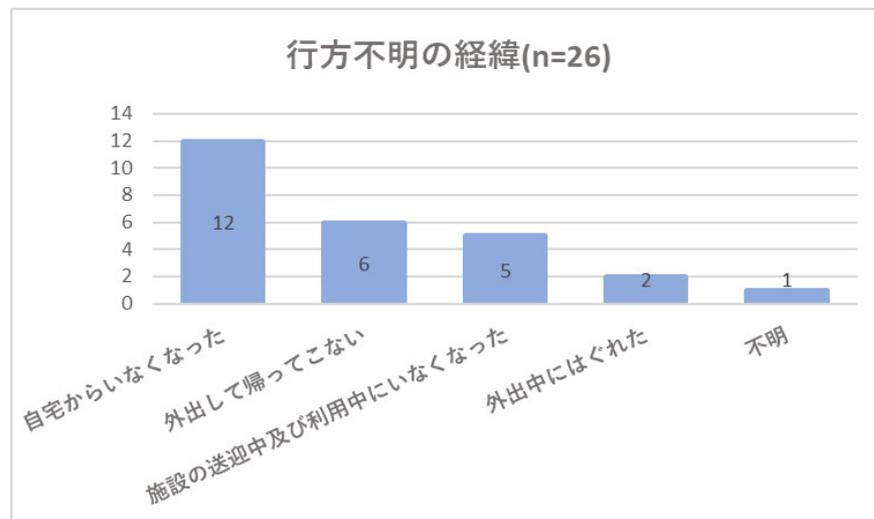
- ・家族が目を離した間に姿がなく、靴がなく鍵が開いていた。
- ・妻が寝ている間に居なくなった。 など

●外出して帰ってこない 6件

- ・近所の床屋に行っているはずが、行っておらず帰ってこない。
- ・犬の散歩に出かけて帰ってこない。

●施設の送迎中及び利用中にいなくなった 5件

- ・デイサービス利用のため、自宅に車で迎えに行ったらいなかった。
- ・ショートステイ利用中に職員が気づかないうちに外に出てしまい行方不明。



傾向と今後の対応策として

- 傾向 自宅以外にも施設の利用中・送迎の場面で行方不明が発生している。
- 対応案 行方不明発生時の迅速な通報の重要性や事前の備えについては、あんしんすこやかセンターやケアマネジャーと連携して周知啓発を行っていく。また介護事業所に対しては事例を共有し、利用者のサービス提供体制の再確認を促す。

令和6年度～令和7年度9月末までの高齢者安心コール等を活用した行方不明事例

発見状況 (n=26)

●通行人が発見 6件

- ・路上でうずくまっているところを通行人が発見。
- ・通りすがりの方が心配して声をかけたところ様子がおかしかったため、交番に連れて行った。
- ・転んで頭を怪我していたところを救急車を呼んで病院へ搬送。

●スーパーでの万引きやタクシー乗車の際のトラブルから発見 3件

- ・スーパーで万引きし、警察官が保護。
- ・神奈川県内の駅前ロータリーにてタクシーに乗車拒否された様子を見ていた通行人が交番に通報し、保護。
- ・タクシーに乗車したが、下車時料金を払えずタクシー運転手から警察に通報。

●施設の職員 1件

- ・ケアマネジャーからの行方不明連絡を受け、通っているデイサービスの職員が、近隣を搜索したところ発見。

その他

- 家族や親戚が発見 4件
- 自力で帰宅 2件
- 警察への通報により発見 10件

傾向と対応案

- 傾向 通行人やお店等でのトラブルから、発見に至ることが多い。
- 対応案 あんしんすこやかセンターや社会福祉協議会が連携し、認知症が疑われる方への声掛け訓練など商店街も巻き込んだ地域での見守り強化におけた取組みを検討していく。

第2期世田谷区

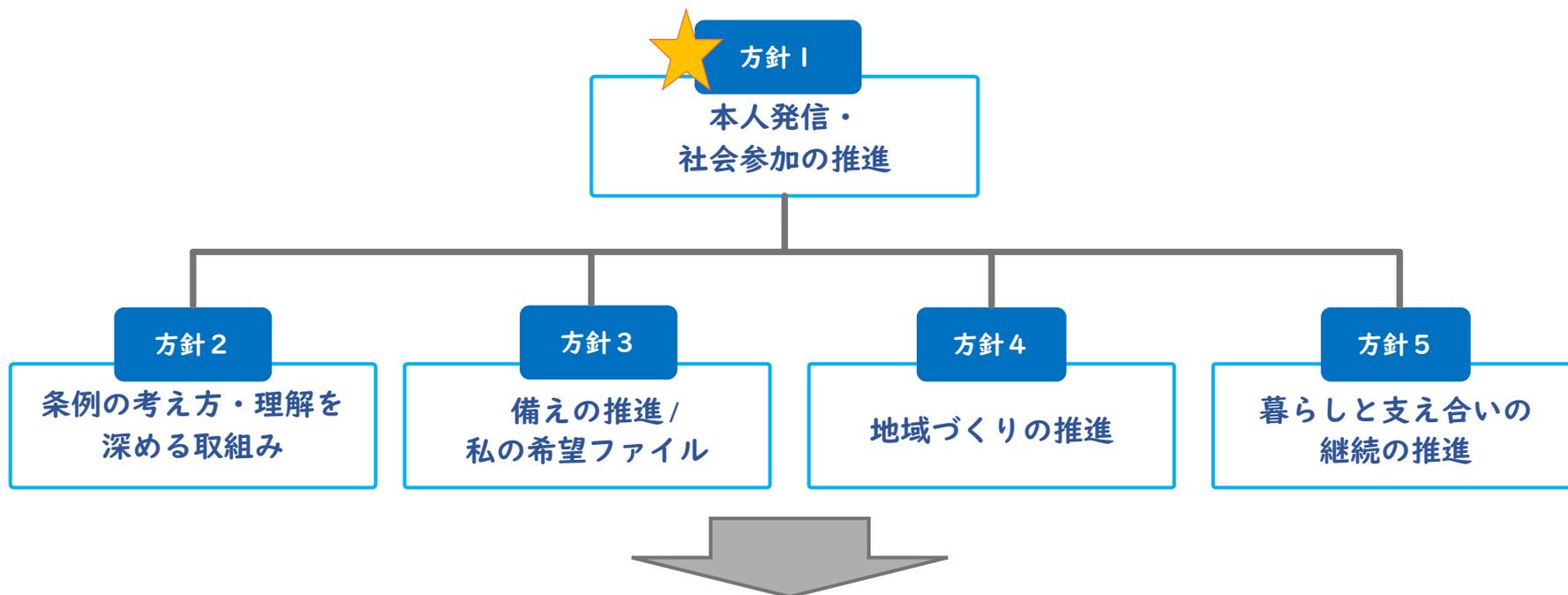
認知症とともに生きる希望計画に
基づく取り組み状況について



1. 認知症施策の体系について

1

- 第2期計画においては、5つの取組み方針を掲げている。
- 方針1「本人発信・社会参加の推進」を5つの取組み方針の要として、他の施策と連動しながら、認知症になってからも安心して暮らせるまち、せたがやの実現を目指している。



認知症になってからも安心して暮らせるまち、せたがやの実現



第3期希望計画にも、上記の体系を継承して検討を進める

■ 令和7年度重点的な検討項目

以下の「令和7年度重点的な検討項目」について、区と認知症在宅生活サポートセンターを事務局とした「テーマ別ミーティング」を開催し、本人の発信と社会参加を基本として、多様な関係者との連携・協働により取組みを推進している。

【令和7年度重点的な検討項目】 ※テーマは令和6年度から継続

第2期計画の推進に向けて、区、認知症在宅生活サポートセンター、医療・介護、認知症の本人・パートナーなど多様な関係者で重点的に検討が必要となる以下の5つを項目として掲げている。

01

認知症月間
イベント
(3P)

02

情報収集・
発信の強化
(4P)

03

医療・介護
あんしんすこやか
センター連携強化
(5P)

04

私の希望
ファイル
(6P)

05

アクション
チーム
(7P)

1 認知症月間イベント

■ 概要

9/20日(土)、世田谷区保健医療福祉総合プラザにて、希望条例施行5周年・令和7年度認知症月間イベントを開催

■ シンポジウム



- 認知症の本人3名より、認知症と診断された時のこと、認知症との向き合い方、日々の暮らし等について、自分の言葉で語っていただいた
- 医師の立場から認知症の医療現場での事例紹介

■ 参加者の反応

- 傾聴ボランティアなどを行っている認知症の本人の話聞き、限りある人生の中で、どれだけ一生懸命にものごとに取り組むかが大切で、実践していきたいと思った
- 仲間とテニスなどの趣味を継続している本人の話聞き、認知症の母にも好きなことをさせてあげようと思った
- アクションチームで活躍する本人の話聞き、認知症を受け入れオープンにすることで、助け合いの輪が生まれることに気づけた

3

■ ハワイアン喫茶



認知症本人交流会に参加している本人たちが選曲した歌の合唱、また、振り付けをしたフラダンスを参加者とともに楽しんだ

■ 効果

- 約10名の本人、認知症でない方30名程度の参加があり、認知症の本人の声を直接聴く機会とともに交流の機会となった

■ 認知症があっても一人暮らしを続けるための工夫展



本人へのインタビューや、これまでの認知症初期集中支援チーム事業等で蓄積した認知症の本人の暮らしの工夫を紹介、管理栄養士によるレシピ紹介、デジタルカレンダーの工夫等を展示

■ 効果

- 認知症になっても自立して前向きに暮らす本人の姿を紹介し、認知症になっても自分らしく暮らすための参考にしてもらうなど、認知症への備えを促すことにつながった

▶ 3期計画に向けた課題・方向性

- ・認知症月間イベントは、「認知症観の転換を促すきっかけとしての役割」を担っている
- ▶各地区で展開されている認知症月間の取組み等との連携、より効果的な本人発信・社会参画の場の検討

「区のお知らせ」

- ・区のお知らせ「せたがや」8月15日号(8面)について、認知症本人交流会の参加者に、タイトル・構成を考えていただき、認知症の本人同士が安心して集える場所が世田谷にあることを参加者の言葉を用いて紹介した
- ・また、認知症あんしんガイドブックや認知症月間イベント、認サポのHPについても併せて紹介した

本人の出演動画、にんさぼだより(認サポ機関紙)

- ・認知症の本人が出演するメッセージ動画を制作し、様々な場で認知症の本人に触れる新たな機会として、せたがや健康フェス、歯っぴいフェスタなどの他所管でのイベントでも活用。さらに、認サポホームページや地区のアクション講座でも活用
⇒公開先HP…<https://setagaya-ninsapo.jp/partners/025265.html>
- ・認知症の本人、認知症の本人に関わっている方々を応援、気持ちの支えになることを目的にした「にんさぼだより(認サポ機関誌)」を発行し、認知症の講座やあんすこ、図書館等での配布

● 区のお知らせ8月15日号裏面



認知症があってもなくてもつながりを大事に。

認知症があってもなくてもつながりを大事に。

認知症があってもなくてもつながりを大事に。

認知症とともに生きる

認知症本人交流会
「楽しく語らうつどいの会～いくつになっても仲間と元気に～」

認知症の本人や、もの忘れが気になる方が出会い、経験や思いを分かち合える場です。この場で交わされる言葉には、認知症とともに生きる力強い気持ちと、未来への希望が込められています。認知症は誰にとっても身近なものです。住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けるために、認知症を自分事として考えてみましょう。

みんなで一緒に楽しく過ごそう。好きなことに打ち込もう。

認知症の殻をやぶろう。思いは変わらない。

● にんさぼだより 第21号

世田谷区

にんさぼだより

第21号

世田谷区認知症在宅生活サポートセンター

特集
わたしの希望

「いいんだ、これでいこう」と仲間同士で笑いあえたら

にんさぼだよりとは？
世田谷区認知症在宅生活サポートセンターの機関紙です。認知症の本人、関心のある方を対象に、支那もあつたるおはようという思いで発行しています。

▶ 3期計画に向けた課題・方向性

- ・区民への更なる周知に加え、医療・介護・福祉関係者等専門職への周知を行っていく必要がある
- ➡本人や家族、一般区民、医療・介護・福祉関係者など、それぞれの立場に応じた情報発信の再検討

■ 本人や家族の声を踏まえた認知症の早期発見・診断後支援への取り組み

- 認知症の本人や家族から、認知症になった当時、「どの医療機関を受診すればよいかわからなかった」、「診断された後、今後どうすればいいのかわからなかった」など、認知症と診断された方が必要なサービスにつながるまでの「空白期間」の問題について、世田谷区医師会及び玉川医師会と議論を重ね、以下の3つの取り組みの方向性をとりまとめた
 - ① 認知症へのイメージを変えるための普及啓発の実施
 - ② 認知機能について身近な場で気軽に相談や確認ができる取組みの拡充（認知症への備えの促進）
 - ③ 認知症の疑い（MCIを含む）がある方や症状がある方を医療や福祉につなぐきっかけづくりを行うとともに、診断後支援の充実
- 区民や認知症ケアを担う支援者が、区内にある認知症に対応可能な医療機関の情報を簡単に得られるよう、両医師会と連携し、各医療機関がどのような認知症対応ができるかを把握するための調査や公開方法などについて検討している

▶ 3期計画に向けた課題・方向性

- ・新しい認知症観の転換に向けて、様々な取組みを行っているが、未だ多くの方は、認知症になることへの不安感がある
- ➡ 認知症へのイメージを変えるための普及啓発の実施、身近な場で気軽に相談や対応ができる取組みの拡充

■ 若年性認知症の方の『働きたい』希望への伴走の取り組み

- 認知症の本人の就労支援B型事業所への通所を支えるため、本人を入れた関係者会議を定期的に行い、本人の思い、施設側職員の気持ちや受け入れに当たっての工夫などについて一緒に対応策を検討した
 - 若年性認知症の本人とその支援者、あんすこ、ケアマネジャー、介護事業所、地域障害者支援センター“ぽーと(※)”などの関係者で、働く機会や居場所づくりの検討を行った
- (※)ぽーとでは、年齢や障害種別を問わず、当事者およびその家族、関係者等からの相談に応じ、情報提供・助言を行っている。

▶ 3期計画に向けた課題・方向性

- ・あんしんすこやかセンターが老年認知症の対応ノウハウを参考に相談支援にあたる従来の体制では、制度の狭間で支援が途切れたり、あんすこ等の支援者側においても患者数が少ないため、相談スキルの蓄積や伝承も困難な現状がある
- ➡ 若年性認知症にかかる相談支援体制の充実

4 「私の希望ファイル」ミーティング

私の希望ファイルとは

区民が、認知症になってからも自分らしく暮らし続けるための備えとして、認知症になる前及びなった後における生活に係る自らの思い、希望又は意思を繰り返し書き記す過程及びその文書又は記録をいう。「私の希望ファイル」は単なる書式ではなく、運用プロセスを含めた全体の仕組み。

本人参画による検討会の概要

【メンバー】 本人2名、家族1名、永田委員、西田委員、氏家委員、佐々木委員、事務局

【検討方法】 本人交流会に参加している認知症の本人2名に協力いただき、試行的に世田谷区作成のACPガイドブック(一部)に希望等を書き込んでもらった。その際の本人の意見を基に、安心して希望等を出表できる仕組みを検討する。

【認知症本人の主な意見】

本人A…希望等を書き記す各項目の内容は理解できるが、1人で書きあげるのは難しい。認知症の本人の思いを引き出し、書き記す内容の整理を手助けしてくれる人がいれば、今後も利用したい。

本人B…難なく思いを書き綴ることはできたが、漠然とした記入項目が多く、回答しづらい。また、現在の状況を記入する項目も加えた方がよい。

【確認事項】

- ・多くの人にとって希望等を出表しやすいツールの在り方、仕組みなどを、引き続き検討を進めていく必要がある。
- ・思いを出表して書いて終わりではない。繰り返し書き換えていくことや、思いの実現に向けて本人の周囲の人たちと共にアクションのきっかけにつなげることが理想。

▶ 3期計画に向けた課題・方向性

- ・身近な場所で安心して思いを出表できる場をつくり、思いの実現に向けて話し合い、アクションを起こし、スモールステップで実現していくプロセスが大切
- ▶ 繰り返し書き換えられ、認知症の本人にとっても認知症ではない方にも利用しやすいツールや、思いを出表できる場について、引き続き、試行しながら検討する

アクションチームのPR

認知症月間イベントにおいて、各地区のアクションチームの活動内容・開催頻度、チームの構成、チームメンバーの構成などを紹介。
 世田谷の地域には認知症になってからも安心して参加できる居場所としてアクションチームがあることを周知するとともに、チームへの参加を区民へ呼び掛けた。
 ◆来場者への配付物…参考資料2 参照



初期集中事業の利用から、アクションチームでの活躍へ!



細菌学の専門家である認知症の本人の「これまでの経験を活かしたい」との思いを受け、手洗いの講演会をアクションチームで企画。郵便局、信用金庫、薬局など協力もあり、広くチラシでPRして開催。

当日は、地域の花屋のフラワーアレンジメントもあり、和やかな雰囲気のもと、楽しく分かりやすい講座が好評。本人からは、「こんな機会があれば協力できるよ」と嬉しい申し出があった。

もの忘れチェック相談会の利用から医療につながり、アクション講座で思いを発信へ!



あんしんすこやかセンターへ相談し、もの忘れチェック相談会を利用。そこから、早期に専門の医療機関につながり、今後のそなえを前向きに考え始めた本人と、ひと足先に認知症と診断され自分らしく暮らしている先輩と2人でアクション講座に登壇。そこで偶然、「冷蔵庫に間違っってメガネをしまった」という共通の体験を共有し、「自分だけではない。思い切って相談することで仲間と出会えることが出来て良かった」と思いを発信。参加者からは「認知症になっても怖くないと思えた」「認知症のイメージがガラッと変わった」との声が聞かれた。

▶ 3期計画に向けた課題・方向性

- ・全28地区でのアクションチーム結成後、各地区における活動の一層の充実
- ➡本人の声を起点に、本人参加から一歩進めた、本人参画でのアクションチームの全地区展開を目指す

委員等による事例紹介及び意見交換について

1. 主旨

認知症施策評価委員会委員やパートナーにより、それぞれの立場から認知症に関する事例を紹介してもらい、その事例をもとに、委員間で意見交換を行うことで、認知症に関する経験や課題の共有を図り、今後の認知症施策に活かすことを目的に実施する。

2. テーマ

認知症の本人の声に基づく取り組みや本人の社会参画を通じて見えてくること

3. 事例紹介者

1	認知症施策評価委員会 丹野 玲子 委員
2	認知症施策評価委員会 経堂あんしんすこやかセンター管理者 氏家 雅史 委員

見守りネットワークに関する統計

参考資料I

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
区による行方不明対応				
行方不明対応の延べ件数(実件数)	12(11)	14(14)	20(20)	16(14)
東京都「行方不明認知症高齢者等情報共有サイト」登録件数	7	6	8	11
あんしん見守り事業				
見守り相談の延べ人数(実件数)	25,201 (6,101)	22,597 (5,313)	20,269 (5,980)	16,576 (4,970)
上記のうち、見守り継続人数(終了件数)	18,238 (6,983)	15,533 (7,064)	12,729 (7,567)	9949 (6,627)
見守りボランティア登録人数	110	130	112	123
ボランティア訪問利用人数	48	41	70	38
高齢者見守りステッカー(高齢福祉課)				
登録人数	392	497	598	729
通報対応件数	6	4	7	5
せたがや一人歩きSOSネットワーク(社会福祉協議会)				
事前登録者の実人数	94	89	76	104
メール配信件数	4	4	9	13
協力者人数(新規登録者数)	611 (5)	576 (9)	531 (8)	628 (97)

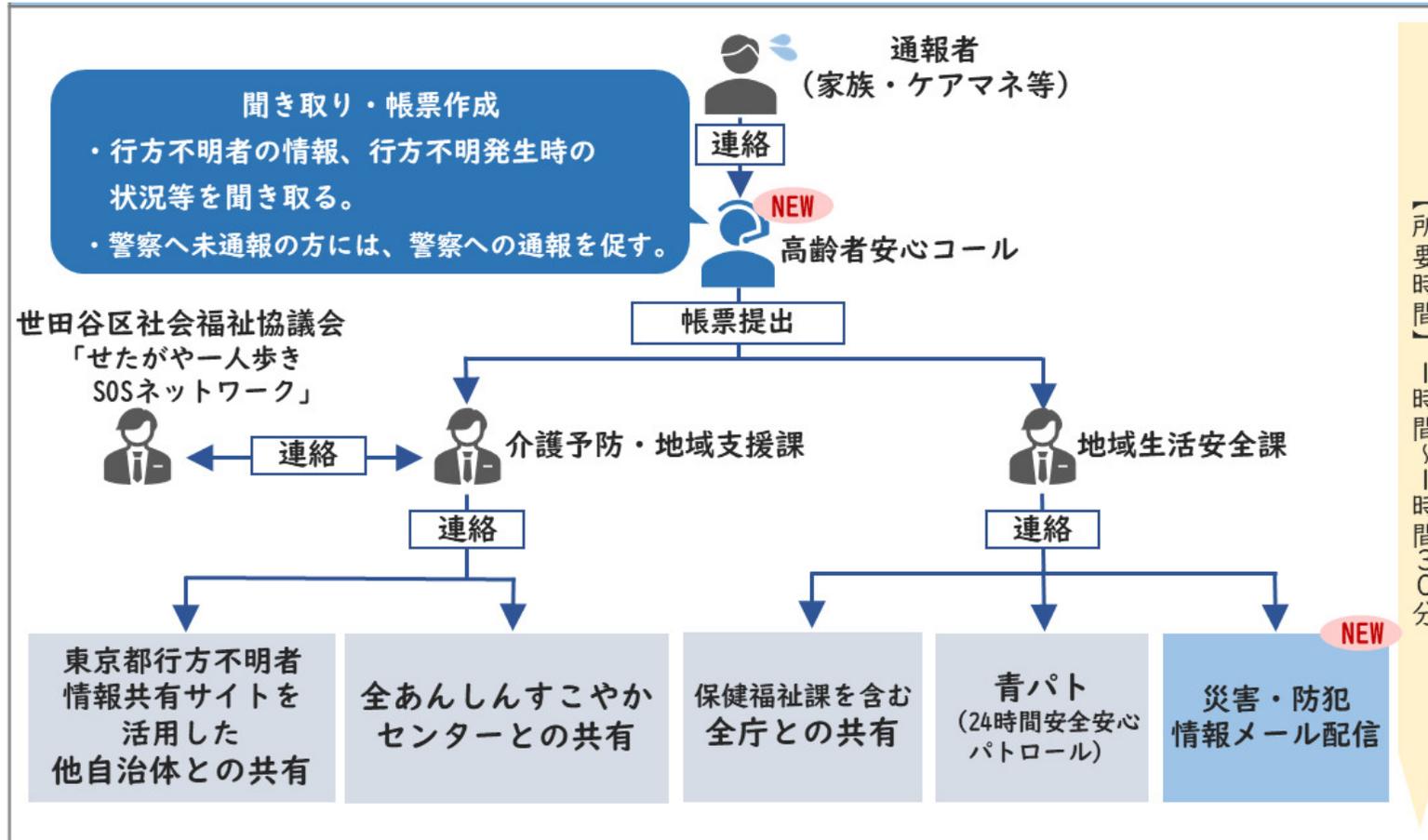
各警察署における統計

No	内容	警察署	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)
1	行方不明者の届出の受理件数	世田谷	81	66	42	45
		北沢	31	64	49	33
		玉川	52	56	58	55
		成城	101	112	99	101
		合計	265	298	248	234
2	1のうち、 認知症(疑い含む)の方の延べ件数 ※括弧内は実数	世田谷	18(16)	16(14)	6(6)	13(12)
		北沢	2(2)	17(16)	9(9)	7(7)
		玉川	14(14)	11(9)	9(8)	6(6)
		成城	19(18)	32(30)	24(21)	23(22)
		合計	53(50)	76(69)	48(44)	49(47)
3	2のうち、 届出が2回目以上の方の実数	世田谷	2	1	0	1
		北沢	0	1	0	0
		玉川	0	1	1	0
		成城	1	2	2	1
		合計	3	5	3	2

※その年の1月～12月の件数を計上

※初回か否かの判断は、当該年において判断

高齢者安心コールを活用した行方不明の対応フロー図



●令和7年度の区の対応実績(令和7年9月30日時点)

- ・行方不明対応の延べ件数(実件数)……………10件
- ・東京都行方不明認知症高齢者等情報共有サイトの活用……………7件
- ・全庁(あんしんすこやかセンター含む)での情報共有……………9件
- ・青パト(24時間安全安心パトロール)……………8件
- ・災害・防犯情報メールの配信……………7件
- ・せたがや一人歩きSOSネットワークメールの配信……………7件



地域	地区	チーム名	活動紹介	会場	地域の方への一言メッセージ	問合せ先TEL
世田谷地域	池尻	池尻三宿にんにん会	<ul style="list-style-type: none"> 住宅改修時の廃材を利用した積み木作り(やすりかけ)をしています。 積み木で地域のイベントに参加しています。 お花見。 	池尻まちづくりセンター 2階 活動フロアー	地域の方々とおしゃべりだけでも大丈夫です。お待ちしております。	5433-2512
	太子堂	つながろう！支え合おう！太子堂アクションチーム	<ul style="list-style-type: none"> 月に1度、認知症にまつわることや互いの関心などを話し合い、聞き合う会を行っています。 年に1度、9月（世界アルツハイマー月間）に、認知症普及啓発イベントを開催しています。 ミーティングの他、メンバーのアイデア・企画で出かけたりしています。（紅葉見物、ハイキング、食事等） 	チームメンバーの企業に開放してもらっているスペース	毎週水曜日の10時に三軒茶屋ふれあい広場で開催している青空ラジオ体操へお越しください！	5486-9726
	若林	ハートふるカフェ	<ul style="list-style-type: none"> 場所がカフェのような素敵なお店です。 お茶とお菓子をいただきながらゆったりと過ごせます。手作りのお菓子が出る時もあります。 認知症があっても、大人同士の会話ができる場所です。 	地域密着型特別養護老人ホーム「ハートフル若林」地域交流室	お気軽にちょっと寄ってみてください。相談事も話しやすい雰囲気づくりを心がけています。	5431-3527
	上町	上町ことばと歌の会	<ul style="list-style-type: none"> 早口ことば：歌舞伎の台詞でもある「外郎売り」を元アナウンサーの方と一緒に体験します。 朗読：朗読サークルによる朗読をダイジェスト的に発表しています。 歌：プロピアニストと懐メロや唱歌を楽しく合唱します。 	上町まちづくりセンター 4階 活動フロアー	3つのレクリエーションで楽しく脳トレ。新規参加者大歓迎です！	5450-3481
	上町	かみまちオレンジカフェ	<ul style="list-style-type: none"> 眺望の良い綺麗な会場でのんびりお話しができます。 美味しいコーヒーや紅茶をご用意しております。 もの忘れなどの相談に専門のスタッフがご答えいたします。 	リハビリホーム グランダ世田谷上町5階 ダイニングルーム	とても気持ちの良いカフェです。まずは一度、お越しください！	5450-3481
	上町	かみまちラジオ体操	<ul style="list-style-type: none"> 誰でも気軽に、ふらりと参加できるラジオ体操です。 ラジオ体操第一、第二、みんなの体操を上町天祖神社で実施しています。 神社にお散歩に来た近くの幼稚園の園児のお子さんも時折一緒に体操しています。 	上町天祖神社（屋外のため、雨天など天候不良時は中止）	地域の方の参加が増えて定着してきました。ぜひ一緒にやってみませんか。	5450-3481
	経堂	経堂地区認知症アクションチーム	<ul style="list-style-type: none"> アクションチーム会議は毎月開催！当事者、介護サービス関係者、民間企業、住民が話し合います。 オレンジテニス隔月開催！区内全域から参加あり。区外の地域包括支援センターから見学に来ました。 認知症講演会、落語の会は例年満員、お花見もしています。新たに銭湯を貸し切って、お背中を流します。 	経堂まちづくりセンター 活動フロアー	誰でも参加していただけますので、ご興味のある方はぜひお声かけください。	5451-5580
	上馬	上馬あゆみ会	<ul style="list-style-type: none"> “元気の源は足腰を丈夫にすることから“を合言葉におしゃべりと季節の風を楽しむ、ゆるやかな散歩会。 上馬あんしんすこやかセンターを拠点に1時間程度歩いています。 初めての方も参加OK！歩いて笑って、四季と仲間に出会える会です。 	集合場所：上馬あんしんすこやかセンター	メンバーと一緒に行き先やコース選定など企画に参加して下さる方を募集しています。	5430-8059
北沢地域	梅丘	うめカフェ	<ul style="list-style-type: none"> 月に1回、第4火曜日に開催しています。 年に数回、ボランティアの方の協力を頂いて音楽会などのイベントを開催しています。 	社会福祉法人古木会 梅丘事務所	認知症の方・家族の方はもちろん、一緒に活動していただける方もお待ちしております。	5426-1957
	代沢	代沢つづくカフェチーム	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年に新しく始まったチームです。 可愛いカフェで、好きな飲み物やケーキを楽しみながら、自由におしゃべりをしています。 トランプやもしバナゲームなど、ミニ企画をすることも。やってみたいこと、一緒に話し合いませんか！ 	シモキタシマイ	みんなでほっとする居場所です。どうぞ優しく見守ってください。	5432-0533
	新代田	新代田えがお美まもりたい	<ul style="list-style-type: none"> 商店、郵便局、銀行、区民センター等関係機関が地域の見守り活動を行います。 当事者が活躍できる機会の創出に向け検討します。 美まもりやまカフェ、代田区民センターを活用し、地域の方と交流の機会を設けています。 	新代田あんしんすこやかセンター等	当事者含め、地域の方がお互いに支え合い、活躍できるよう取り組んでいます。	5355-3402
	北沢	チーム虹から	<ul style="list-style-type: none"> ほっとひと息、楽しいひと時を過ごせる居場所づくり。虹からカフェでお茶を飲んでいきます。 本人の特技を活かした活動：クイズ、模型づくり、ピアノ演奏を披露しています。 多世代交流：児童館での夏祭りや、地域での昔遊びに参加しています。 	虹からカフェ：火曜 ミスタードーナツ下北沢ショップ、土曜 活動フロアー他 アクションミーティング：北沢まちづくりセンター活動フロアー	「チーム虹から」で一緒に活動しましょう！！	5478-9101
玉川地域	九品仏	九品仏アクションチーム	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活動団体同士の連携や、認知症への理解を深めていただくための交流会を開催しています。 九品仏版私の希望ファイルプロジェクトを進めています。 他に男性介護者の会、夫を介護している妻の会、認知症カフェつどいば・ぶらーりを開催しています。 	九品仏地区内集会施設	私の希望ファイルの試作版を地区内の方や団体で試してみませんか。	6411-6047
	等々力	～ちょっと一息～きまま茶屋	<ul style="list-style-type: none"> ホットコーヒー、ホット紅茶の提供を無料で行っています。 ペーパークラフト、カラーコーディネート、臨床美術がお楽しみいただけます。 来られた方同士やスタッフと楽しくお話しができます。好きな時間に来て、好きな時間に帰っても大丈夫です。 	玉川総合支所 活動フロアー	きままにちょっと一息つきに来ませんか？	3705-6528
	上野毛	玉川野毛町公園ラジオ体操withかみのげやさしくみまもり隊	<ul style="list-style-type: none"> 申し込み不要で気軽に自由参加ができます。 地域との繋がりが希薄な方や認知症の方で外に出かける機会が少なくなっている方など、様々な方が参加できます。 世代を選ばず子育て世代の方等のお若い方も参加できますので、散歩の途中でも参加できます。 	玉川野毛町公園	みんなと一緒にラジオ体操をして、心も体も健康を保ちましょう！	3703-8956

地域	地区	チーム名	活動紹介	会場	地域の方への一言メッセージ	問合せ先TEL
玉川地域	用賀	オレンジカフェ 上用賀茶房	<ul style="list-style-type: none"> 皆さんでお茶を飲みながら、いろんな気持ちを語り合う「居場所」です。 認知症当事者、ご家族、認知症に興味ある方などなたでも参加できます。 ミニイベントは参加者からの意見をもとに実施しています。 	上用賀5丁目アパート集会室	皆のちょっとした希望を実現できるそんなカフェを目指しています。	3708-4457
	二子玉川	ほっとカフェ1号店	<ul style="list-style-type: none"> 世田谷にある女子サッカーチームスフィーダ世田谷などが来て体操や運動をしています。 薬局や訪問歯科、福祉用具などの講座をしています。 	シティーコート二子玉川 集会所 ※飲み物持参	わいわい、気を遣わず安心して話せるひと時を一緒に過ごしましょう。	5797-5516
	二子玉川	ほっとカフェ2号店	<ul style="list-style-type: none"> コーヒーをはじめ美味しいメニューがたくさんあります。 遠方にお住まいの方も、介護・医療機関のスタッフも気軽に参加しています。 参加されている認知症当事者の方を招き、小中学校でアクション講座を開催しています。 	玉川高島屋S・Cマロニエコート3階 Cafe MUJI 二子玉川	一度参加してみませんか？ほっと安心できるひと時をご一緒しましょう！	5797-5516
	深沢	サロン「かめ」	<ul style="list-style-type: none"> やさしい手話コーナー、皆んなで学び、使っています。 季節に因んだ童謡・唱歌、なつかしいあの歌・この歌など、皆んなで歌います。 ねえっ聞いて～の世間話や耳より情報、なんでも自由におしゃべりしています。 	桜新町区民集会所内ふれあいルーム	参加者ひとりひとりの声を大切に、どなたも置き去りにしないサロンにしたいです。	5779-6670
	深沢	オレンジカフェ「聴かせて」	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人と楽しくお茶を飲みながら、認知症になっても遠慮なく話せる場所を育てています。 認知症専門職のあんしんすこやかセンターの職員の方に気軽に個人的な相談もできます。 ご自分の特技を生かすこともできます。 	深沢環境共生住宅1階 デイホーム 深沢研修室	「オレンジカフェ聴かせて」は、地域の皆様に開かれています。	5779-6670
砧地域	祖師谷	そしがやローズ	<ul style="list-style-type: none"> 地域のみなさんの作品（絵画、刺繍や絵手紙など）をギャラリーで展示するお手伝いをしています。 祖師谷ふるさとフェスティバルへの出展を目標に活動しています。 活動の計画や振り返りなどのミーティングを開催しています。 	祖師谷まちづくりセンター 活動フロア	手作りの作品を発表したいという方、新しいメンバーも大募集中です！ぜひご参加ください。	3789-4589
	成城	きらきら～いくつになってもキラキラ～	<ul style="list-style-type: none"> お茶会、百人一首や折り紙、ハンドアーチェリー等、チーム員と一緒に企画しています。 認知症に関することを一緒に学ぶ会も取り入れています。 お互いのことを知り、穏やかな気持ちで過ごせる関係づくりができるような企画を開催する予定です。 	成城まちづくりセンター 活動フロア等	「ここに来ると楽しい！」と思えるような活動をしています。	3483-8600
	喜多見	だんだんの会	<ul style="list-style-type: none"> 月に1回喜多見団地の方々、近隣の方々と開催しています。 健康に関するお話や音楽鑑賞、喜多見児童館との交流を行なっています。 お話しだけでも気軽にお立ち寄りください。 	喜多見2丁目団地集会所	児童館の子供たちとの多世代交流もしています！	3415-2313
	砧	キヌタ de カフェ	<ul style="list-style-type: none"> 毎月2回、地区内飲食店に集まりお茶会（ランチ）をしています。（飲食代は参加者負担） 参加者の皆様の声から協力機関、協力者と協働し適宜イベントを開催しています。（音楽会、ポッチャ等） 	認知症カフェ：タリーズコーヒー砧 世田谷通り店、クーポール 大蔵店 ミーティング：地区内の喫茶店等	いっしょに活動してくださる仲間を大募集中です。砧あんしんすこやかセンターまでお問合せください！	3416-3217
烏山地域	上北沢	岡さんのいえTOMOアクションチーム	<ul style="list-style-type: none"> 大きなスクリーンで「世田谷いきいき体操」を映し、運動しています。心も体もリフレッシュ。 じっくり入れたおいしいコーヒーでおしゃべりをして看護師による健康チェックを行っています。 日によっては高齢者が一人もいない、なんて日もあります。それもまた「岡さんのいえTOMO」らしさです。 	岡さんのいえTOMO	お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。	3306-1511
	上北沢	みんなのカフェ	<ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホームの介護や医療の専門職による講話で介護予防・認知症のそなえになります。 皆でアイデアを出し合って「アイロンビーズ」「皆で楽器演奏」など楽しい企画を立てています。 デイサービスの職員による介護予防体操やあんしんすこやかセンターの「まちの保健室」もやっています。 	特別養護老人ホーム上北沢ホーム地域交流室	ぜひお立ち寄りください。	3306-1511
	上祖師谷	にれの会	<ul style="list-style-type: none"> 毎週月曜日と水曜日 10時から祖師谷公園で開催しています。 皆さん楽しく参加されております。2～3ヵ月毎にラジオ体操終了後、茶話会を開催しています。 祖師谷公園へ散歩に来られた際は、ぜひお立ち寄りください。 	祖師谷公園 祖師谷公園管理所横（空地）	障害があってもなくても、年齢に関係なく気軽に参加できる場所です。	5315-5577
	烏山	アクションチーム@KH	<ul style="list-style-type: none"> コーシャハイム千歳烏山の敷地内で様々な団体が活動し、チームとなって活動を行っています。 各テーマに合わせ、様々な人たちが参加しています。 参加人数も増え、多くの人達の交流の場となっています。 	コーシャハイム千歳烏山1号棟 1階 コミュニティサロン	心配事や悩み事の相談には専門職が対応することもできます。	3307-1198
全区	全区	オレンジハート	<ul style="list-style-type: none"> 区内全域でのボランティア等、地域で積極的に活動しています。 定期的に集合し、運営やボランティア活動の振り返り、知識の向上のための勉強会等に励んでいます。 2ヶ月に1回、うめとぴあでオレンジカフェを行っています。ぜひ遊びに来てください。 	ふれあいカフェうめとぴあ	オレンジカフェせたOHAの見学や体験をしてみませんか？	6379-4315



認知症月間におけるライトアップ

- うめとぴあ（世田谷区立保健医療福祉総合プラザ）の認知症月間中のライトアップ



今年度より、保健医療福祉総合プラザにて、9月20日（土）認知症の日の前後1週間、同建物4階の医師会と連携し、認知症の普及啓発活動のテーマカラーのオレンジ色にライトアップを行った。

視察及び取材の受け入れ状況

- 視察関係（テーマ：希望条例・希望計画等について）

令和	日時	団体名
6年度	7月22日	行政視察(江別市)
	8月27日	行政視察(中央区)
	10月31日	行政視察(流山市)
	11月29日	さいたま市認知症フレンドリーまちづくりセンター
7年度	6月26日	行政視察(宇都宮市)
	10月23日	埼玉自治体研究所
	10月29日	板橋区議会

- 取材関係

令和	取材元	テーマ
6年度	日経新聞	本人の声(北沢・太子堂)
	イマジン社	希望条例・計画、地域づくり
	J:COM	認知症月間イベント
7年度	世田谷くみん手帖(世田谷サービス公社)	認知症カフェ
	医療と介護2024	希望条例、認知症初期集中支援チーム事業
	認知症予防財団(12月取材予定)	認知症希望条例、アクションチーム(オレンジテニス)